

恩田地区(12月末)

世帯数 6,138戸 (-6)
総人口 12,224人 (-11)
男: 5,993人 (-12)
女: 6,231人 (+1)

恩田だより



2月号 (541号)

発行年月日 2025年2月1日
発行 恩田ふれあいセンター
恩田地域づくり協議会

TEL/FAX 21-0349
恩田地域づくりHP www.onda-ube.com



【地区人権教育推進大会のご案内】

主催: 恩田地区人権教育推進委員協議会

日時: 令和7年2月16日(日)9:30~11:30
場所: 恩田ふれあいセンター 2階会議室
内容:

- 1) 作文発表 恩田小学校児童、常盤中学校生徒
- 2) 演題 「ひたむきに子どもと向き合った日々」
講師 大谷 正樹氏
(パラアスリート大谷春樹君のお父様)

* 参加の申込は恩田ふれあいセンターへ ☎(21)0349
* 臨時駐車場もご用意しますが、駐車スペースに限りがございますので、なるべく徒歩・自転車等でお越しください。



2月の健康相談

担当 村川保健師、南部第1高齢者総合相談センター(秋山)
日時: 2月19日(水) 10:00~11:30
(毎月第三水曜日)

場所: 恩田ふれあいセンター 1階広報室
申込: 不要

「2月は、血管年齢測定です」目指せ! 血液サラサラ
「AGEs(老廃物)測定」 目指せ! サビない身体



募集 ~ふれあいクッキング~ (先着8名)

(恩田地区社会福祉協議会)

日時: 令和7年2月18日(火)9:30~12:00
場所: 恩田ふれあいセンター調理室
申込: 2/13(木)迄に恩田ふれあいセンターへ(21)0349

◇寒い日はあったまろう! メニュー◇

- 厚揚げ豆腐ステーキ、美祢産原木椎茸のフライ
- かぶとりんごのサラダ
- 切り干し大根の簡単ピクルス
- 大根とホタテのしょうが入りスープ
- ホットケーキミックスを利用した簡単スイーツ



【大根はビタミンCが豊富、水に溶けやすい栄養素なのでスープごといただきます。厚揚げの食べ比べもお楽しみに!】

おんだの人



こんにちは、「おんだチャンネル」です。令和4年3月から、「恩田地域づくり協議会」で地域貢献にたずさわる人を、リレー形式で毎月紹介しています。第35回は、恩田小学校愛育会会長の坂本直子さんです。頼りがいのある女性リーダーの意外な一面にとっても親近感が湧きました。

大切な存在「愛育会」 坂本直子

みなさんこんにちは! 恩田小学校愛育会会長を勤めさせていただいています坂本です。

恩田地区に引っ越したのは令和3年で、子どもが2年生の終わりのときです。以前はとても近くの常盤地区に住んでいましたが、約1km離れたところに引越しをしたら恩田地区になり、はじめは仕方なく転校させた感じでした。恩田地区に住んでまず子ども会には当然のように入会しました。ところが子ども会がとても活発で有価物収集は以前のところでもありましたが恩田地区の子ども会はドッチビーやクリスマス会、海水浴、ボーリング大会ととてもたくさんの行事があり、子どもが「転校してよかった!」と喜んでいました。習い事の柔道もコロナの影響で通っていた道場が使えなくなり柔道は出来ずトレーニングするだけの日々でしたが、たまたま同じクラスに柔道をしている子どもがいたので同じ道場に入団させたら、なかなか楽しくやっていたのでホットしました。私自身も転校して2年目で何を勘違いしたのか愛育会の執行部に立候補してしまいました。しかし執行部1年目は楽しくてあれよあれよという間に過ぎていきました。2年目も楽しくやっていたと思う矢先に会長を決めないといけない時期になりまして何を血迷ったか(たぶん酔っ払ってました)「会長をやる!」と言ってしまいました。はじめは会長ってやるのが多くて大変かとも思い、これは痩せるチャンスだと思ったら...会議は副会長はじめ執行部内で分担してもらい、頭を使うことは書記さんに任せっぱなし。そうなると思えばいいところではなく体重増に歯止めがきかず11月になって、「あ! 卒業式と入学式スピーチがある。痩せなければ!」と思い出しダイエットを決意。本番までにどの程度痩せているかは不明ですが、痩せていようが増えたいようが卒業式と入学式は心を込めてスピーチさせていただきます。今PTAの在り方が問われている地域もある中、保護者のみなさん方がお子さんが学校生活を楽しく安全に過ごすために協力しあえる愛育会はほんとに大切な存在だと思います。いつもご理解、ご協力をありがとうございます。

2月の行事予定

3	月	9:30	見守りネット	センター
		18:30	地域づくり役員会	
4	火	19:00	体振役員会	センター
5	水	10:00	母推定例会	センター
		19:00	おんだ翼定例会	
6	木	15:00	民児協月例会	センター
7	金	19:00	ふれあい運動例会	センター
12	水	9:00	交通役員会	センター
		10:00	ひよこミルク	
13	木	9:30	老連理事会	センター
14	金	9:30	まちづくりサークル	センター
		10:00	オレンジほっとサロンin五十目山	五十目山会館
16	日	9:30	人権推進大会	センター
		11:30	第3回人権教育推進委員協議会	
18	火	13:30	支え合い会議	センター
19	水	10:00	健康相談(保健師来館)	センター
		13:30	オレンジほっとサロンin則貞	則貞会館
21	金	19:00	恩子連定例会	センター
		19:00	体振三役会	
25	火	7:30	自治連あいさつ運動	各拠点
		13:30	オレンジほっとサロン	センター
26	水	19:00	おんだ翼役員会	センター
27	木	18:30	地域づくり三役会	センター

人権作文

世界を笑顔にするために

恩田小学校6年 福重 侑香

みなさんは「人権」を守るためにどんなことが大切だと思いますか。私は、みんなが笑顔でいることが大切だと思います。その理由は、笑顔で仲良く暮らしたら、差別やいじめがなくなり平和になれると思うからです。

私は、修学旅行で広島の平和記念公園に行き、被爆体験伝承者さんの話を聞いたり平和集会をしたりしました。広島では、原爆の爆風、熱線、放射線の影響でたくさんの人々が亡くなりました。また、外国では、今も国同士で戦争をしているところがあります。その戦っている国の人々はきょうふや不安、悲しみで笑顔にならないと思います。ですが、これらの戦争は私たちの手で止めることはできません。今、私たちにできる事は、まずは学校でクラスのみんなを笑顔にする事だと思います。例えば休み時間、一人でいる子がいたら声をかけてあげたり、勉強が分からない子がいたら教えてあげたりすることで、もつとたくさんの友達を作ることができます。友達がたくさんいれば、笑顔もたくさんになります。また、大切なのは困っている人や、なやんでいる人の話を聞いて、先生に相談したり解決方法をいっしょに考えたりすることだと思います。学校以外でも家で家族の手伝いをしたり、街の中で困っている人に声をかけたりすることも大切だと思います。実際に私は、家でお母さんの料理の手伝いをしたり、ふとんをしいたりたたんだりしています。するとお母さんが「ありがとう。」と言って笑顔を見せてくれます。それを見た私も、うれしくて自然に笑顔になります。

一人ひとりが今できる事を少しずつやれば、みんなの笑顔ができて平和な世界につながる事ができると思います。みなさんも今でき

ることを考えて行動し、笑顔で平和な世界になげませんか。

言葉の力

常盤中学校三年 末松 珠那

私たちの生活においてインターネットはなくてはならない存在となっています。スマホなどを通じて私たちはいつでも簡単に情報を得たり遠く離れた人とコミュニケーションをとることが出来ます。仕事や勉強にもインターネットは欠かせず、効率的に情報を共有したり学校では授業の中での調べ学習などで使われています。しかし、その反面インターネットでは使い方を間違えると相手を傷つけてしまうなどのマイナスな面もあります。ネットトラブルはその代表的な例であり、人々の生活にも影響をあたえています。今回は、このネットトラブルがもたらす人間問題について考えてみました。

まず、ネットトラブルの中で特に多い誹謗中傷やネット上でのいじめです。これは個人に対する悪質なコメントやデマ情報が広がり被害者に大きな精神ダメージをあたえ相手をおいづめることとなります。インターネットでは匿名があるのいいことに悪質な事をかきこんだりしてしまいます。またこの匿名性が高いため自分の言動に対する責任を感じづらくなってしまうのです。その結果被害者は、名誉やプライバシーが侵害されてしまいます。中には、誹謗中傷が原因で自殺してしまう人もいます。こうした事はニュースでも報道され社会に大きなしよげきを与えています。

実際にあった例として、SNSによる誹謗中傷が原因で女子プロレスラーが自殺してしまうという事件がありました。この時まだ二十二さいという若さでした。この事件ではインターネット上の言動が現実の生活にどれだけ大きい影響を与えるかを痛感させるものでした。

また、個人情報の流出もネットトラブルの一つです。不正アクセスや何気なく投稿した写真が原因で個人情報もれたりします。個人情報流出は、被害者の自由やプライバシーを奪い、社会生活にしようがでる場合もあります。

こうしたネットトラブルは被害者の人権を侵害する深刻な問題です。また、ネット上でのいじめは被害者の心を深く傷つけその人自身の人生をうばってしまうかもしれません。

では、このようなネットトラブルに私たちはどのように向きあい対処するべきなのか考えてみました。まず、第一にインターネットのおそろしさを知ることが必要です。特に、若い人に対してインターネットは良い所だけではなく、その危険性やリスクを、理解してもらおうことが大切です。例えば、匿名性についてです。これは自分自身のプライバシーを守るためであつて人を傷つけたときに隠れるためではないということ。当たり前と思うかもしれませんが、こうした常識も、あらためて見つめあうべきだと思います。また、SNSやインターネットを利用する際は、自分の言動が他者にどのような影響を与えるかを常に考え責任のある利用を心がけることが求められます。

最後に私たち一人ひとりの意識が何よりも大切です。インターネットは便利なものであると同時に、その使い方次第では他人の人権を脅かす凶器にもなります。ネット上での言動が現実と同じように影響をもつことを自覚し、他人へのはいりよを忘れないことが重要です。言葉には力があります。この力をどのように使うかは私たちにしかかっています。インターネットは私たちの生活を豊かにする一方で、適切に利用しなければ人権侵害を引きおこす可能性があります。ネットトラブルを防ぐためには社会全体での取り組みが必要です。そして私たち一人ひとりの意識が人権を守るための鍵となります。

令和6年度恩田小学校児童【六年生】

人権標語

○特選

・ **だいじょうぶ「いやだ」と**

・ **言って いいんだよ**

高橋 希楓

○入選

・ みんなちがう 自分らしさを 大切に

藤嶋 光

・ 考えよう 笑顔につながる 言い方を

福重 侑香

・ 人権って何かを考える 中野 柊志

・ 一言で いじめはじまり 傷一生

重村 咲妃

・ ひとりひとりの命が 世界の宝もの

佐々木 凜

・ その言葉 どこかで人を きずつける

岡部 萌

・ 自由に 意見を言おう 自分の口で

伊東 璃子

・ やめようよ この一言で 救われる

爲末 明稟

・ がまんせず 聞いても言っても 大丈夫

村川 慶司

・ みんな自由で みんな仲間

岡崎 羅来